

## ◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、5.43(369例)で、先週に比べ、ほぼ半減しましたが、過去5年平均値(3.44)を上回っています。
- ・ 突発性発しんの定点当たり報告数は、0.44で、本年度で最も多くなっています。年齢階級別では、1歳が0.27(61.1%)で最も多くなっています。
- ・ 百日咳の報告が、1例(男性、6～11ヶ月)あり、第3週以来の報告で、本年度の累積報告数は、2例です。全国では、今週(0.04)が最も多くなっています。

## ◆ 今週のトピックス:<RSウイルス感染症>

- ・ 今週の定点当たり報告数は、0.20(8例)で、本年度で最も多くなっています。平成16年～平成20年の第1週～第13週の累積報告数(1～30例)と比べて、37例で最も多くなっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数報告の感染症

ありません。

### 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	5.43	369
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.39	262
	② 水痘	1.20	49
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	24
	④ 突発性発しん	0.44	18
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.22	9
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

### 病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスA2型(7)	熱性けいれん(第38週) ヘルパンギーナ(第31週) かぜ症候群(第31週, 第29週, 第24週) ヘルペス口内炎・歯肉炎(第29週) 感染性胃腸炎(第25週)	NP NP NP×3 NP FC	インフルエンザウイルスC型(4)	ヘルパンギーナ(第25週) 咽頭結膜熱(第22週) その他のけいれん(第19週) かぜ症候群(第15週)	NP NP NP NP
コクサッキーウイルスA4型(3)	手足口病(第37週) ヘルパンギーナ(第29週) かぜ症候群(第26週)	NP NP NP	RSウイルス(7)	かぜ症候群(第50週×2, 第49週×3, 第48週, 第47週)	NP×7
コクサッキーウイルスA16型(2)	手足口病(第41週) かぜ症候群(第28週)	NP FC	肺炎球菌(4)	かぜ症候群(第49週×2, 第26週) ヘルパンギーナ(第25週)	NP×3 NP
エコーウイルス9型(1)	かぜ症候群(第33週)	NP	インフルエンザ菌b型以外(1)	ヘルペス口内炎・歯肉炎(第29週)	NP

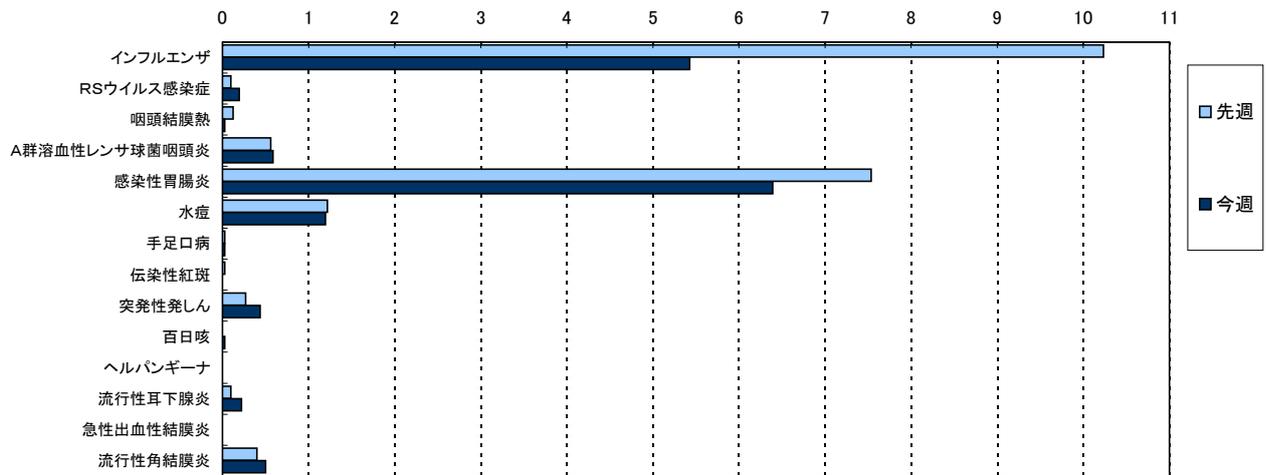
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<RSウイルス感染症>

(注) 京都市のデータは、平成21年4月2日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

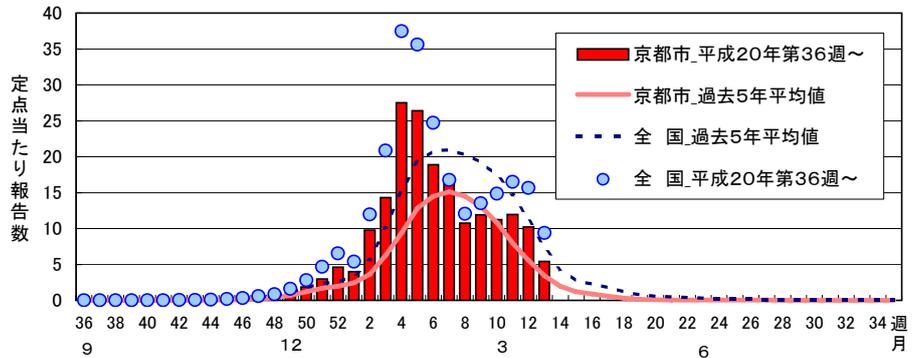
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第13週)と先週(第12週)の定点当たり報告数の比較



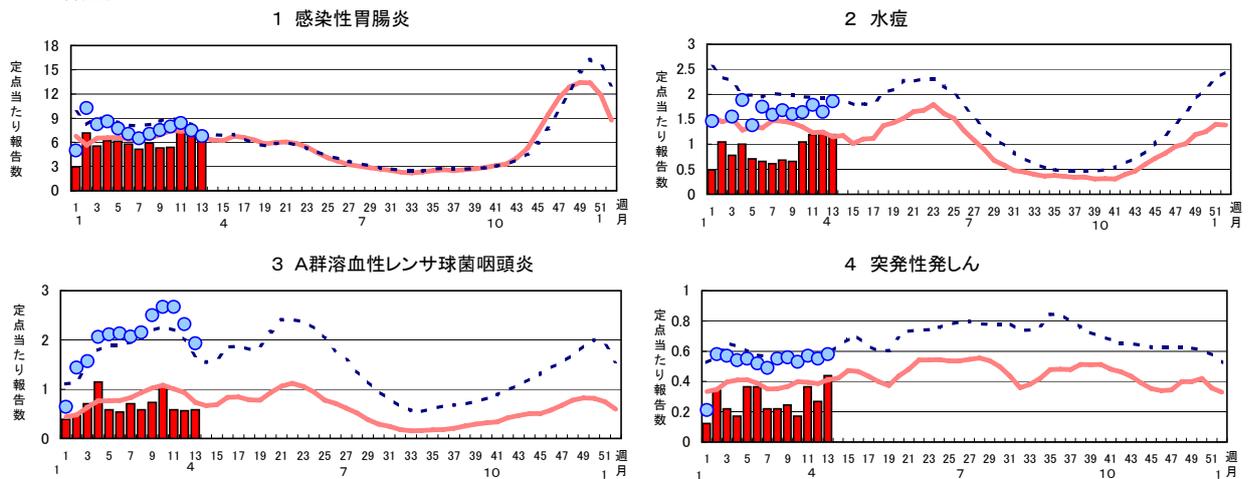
## 2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第9週	810
第10週	765
第11週	814
第12週	696
第13週	369
累積報告数 (第36週以降)	12918

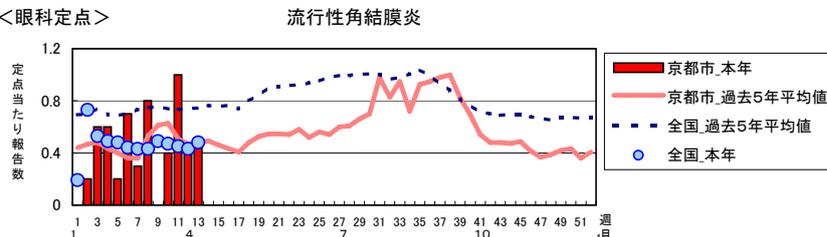


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



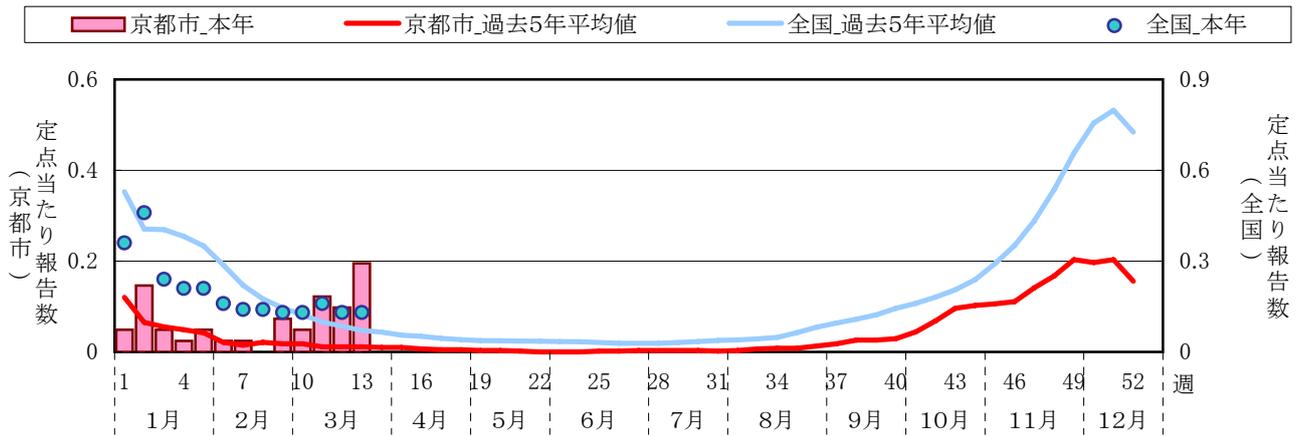
# 今週(第13週)のトピックス: <RSウイルス感染症>

今週の定点当たり報告数は、0.20(8例)で、本年で最も多くなっています。平成16年～平成20年の第1週～第13週の累積報告数(1～30例)と比べて、37例で最も多くなっています。

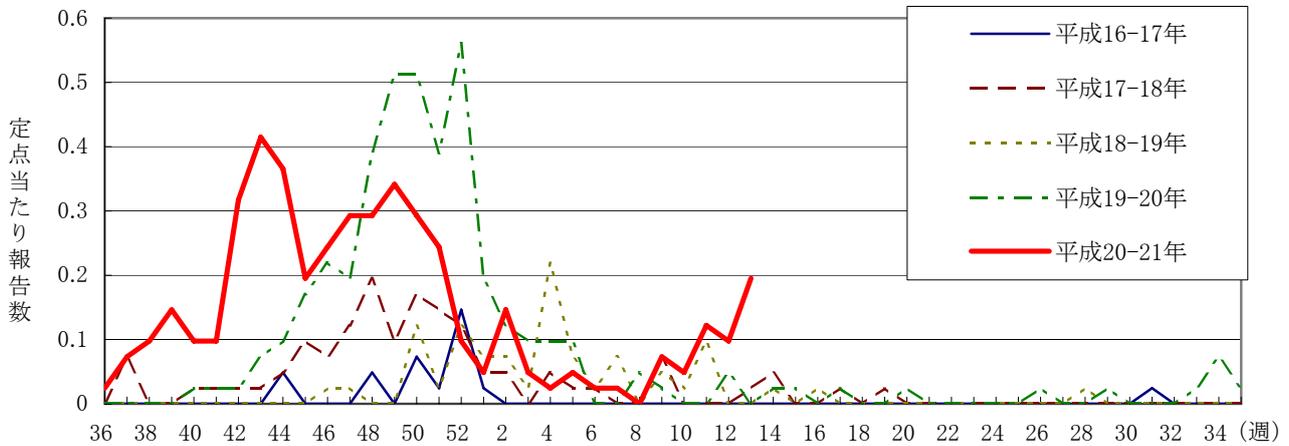
今シーズン(平成20年第36週～平成21年第13週)は、第8週を除いてすべての週で報告され、第8週から再び増加しています。

年齢別割合は、3歳が75.0%で最も多く、次いで0歳及び2歳が12.5%となっています。全国は、0歳が50.0%で最も多く、次いで1歳が25.0%となっています。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移(平成21年)



平成16年以降の各シーズン(第36週～翌年第35週)の定点当たり報告数の推移



年齢別割合

